

サンクトペテルブルグ エルミタージュ美術館前にて

2007年5月シリアにて「高句麗伝説」コンサート100回記念を開催しました。その時、自分の内に新しい生命が蘇えるという表現が生まれる経験が起きました。「高句麗初代の王東明王様が生き変わり蘇える」という言葉となる状態に、自分自身が驚き、受け容れることに時間を要しました。101回目のブルガリア、トルノボにての「高句麗伝説」にて東明王様の詩を詠む時、明らかに生き変わり蘇っていることを生命全てで体験しました。地球の地軸が動く程の衝撃が全身を貫き、古い体質の殻も砕け取り壊し飛ばすエネルギーに、我身が吹き飛ばされないようにと必死に立つことで精一杯でした。倒れまいと懸命であったことより覚えていません。無事に倒れずに終演した時、人間が変わっていました。唯一頭の天辺が固くひどい頭痛に苦しみました。頭を抱えないと歩けない程の頭痛は、次のルーマニアでの「高句麗伝説」まで続きました。記者会見の為にブルガリアからルーマニアの国境を越える時、頭が上がりずに国境を通り過ぎたことは今も鮮明に覚えています。食事をする時も頭を抱えながら必死で座り食事を取りました。東明王様が生き変わり蘇えったことを生命は受け容れているのに、頭が抵抗している故とは文字通り痛い程わかりました。



サンクトペテルブルグ エルミタージュ美術館前にて

トルノボの城跡の丘の上の舞台にて、空の更に向こうまで東明王様が光の道を敷いて下さった事が見えました。その光は、ロシアへの道でした。高句麗滅亡後、王族は日本とロシアへと分かれました。私は幼い頃より胸の内から別れた同胞に会いたいと切望し、片割れに会いたい気持ちが常に在り続けました。高句麗始祖東明王様が離れ離れになった同胞と会わせてくれるとはっきりと見えました。次はロシア…とやっと時が来てくれたことに胸震え、夢を見ている思いでした。その後、お会いする方々にロシアへの道を作りたい気持ちを語り、ご協力依頼をしました。トルノボ市にも依頼し、ご快諾頂きましたが、ご縁を作れませんでした。マケドニアのビトラ市長とお会いした時、ビトラとロシアのサンクトペテルブルグが姉妹都市であることを知り、ご協力を仰ぎました。サンクトペテルブルグのドストエフスキー博物館の館長さんをご紹介下さいました。アポイントメントも無事に取ることが出来ました。ロシアは厳寒の時期である1月の下旬に寒いことは承知で一日も早くロシアへ行きたい気持ちでサンクトペテルブルグ、パリ、アルメニアの旅を組みました。出発前にインフルエンザに罹り、やむなく変更せざるを得なくなりました。いだきを始めて、初めてスケジュールを変更することになりました。いつもは熱があっても体の具合が悪くても必ず予定通り行なってきましたので、私は初めての決断に自分自身が動揺し深く考えました。ロシアへの道は大きな壁がはだかっていると見え、自分の生き方を正し、要を決めることに尽きました。2ヶ月後の3月の下旬に変更して頂きました。日本では桜が咲く頃ですが、ロシア、サンクトペテルブルグでは雪が降っていました。写真に写る私が着ているコートは、お告げにより見えていたコートです。当初の予定であった1月はとても寒すぎて着ていけないコートでした。お告げにより見えたコートに出会った瞬間、私は「これでロシアは決まり」と叫んでいました。中々返事が来ないでやきもきしていたのです。叫んだ通りにこの後すぐにアポイントの承諾の返事が来ました。1月は寒すぎてお告げのコートは着ていけない状況でしたが、不思議な巡りで行けなくなり次の3月ならちょうど季節に合っていると感じ、お告げの凄さに畏れ入りました。サンクトペテルブルグに着いた時、このコートを着ている私に行き交うロシア人が微笑み、手を振り、初めてお会いするのに旧知の友に会ったかの反応に、とても心が温もり、喜び生まれました。

ドストエフスキー博物館にて、ロシアの文学の香りに出会い魅せられました。私が望む香りに引き込まれ、自分のやりたいことが見えました。サンクトペテルブルグでの「高句麗伝説」コンサート開催は出来ませんでしたが、モスクワでの開催が2009年に実現しました。

そして今、再びモスクワでのいだきしん先生のコンサートを開催出来る時を迎えています。別れた同胞に会いたくて、同胞探しが昨年からは始まりました。多くの出会いが生まれるロシアでの活動です。昨年10月にはウラジオストクにていだきしん先生のコンサートを開催しました。今年開催予定のモスクワコンサートは、コロナウィルス感染拡大により来年へと延期となりましたが、来年には実現出来るようにと心より望んでいます。人間の内面の環境が取り巻く環境を作ります。コンサートにて何の境も限界もない、世界中の人と「生命ひとつ、愛」を経験する時、取り巻く環境も自ずと愛ある環境が作られます。世界の平和実現へ向けてのコンサート活動です。一回でも多く開催出来ます様に人生賭け取り組んで参ります。開催主旨をご理解頂き、共に活動して頂ければ大変ありがたいです。



高麗恵子